

2001年、熱気渦巻く街、渋谷。
僕は、夢を追うひとりの少女に出会った。



島田隆一監督作品『ドコニモイケナイ』公開10周年記念上映 & 新作『二十歳の息子』特別上映

ドコニモイケナイ

第53回日本映画監督協会新人賞受賞作品

監督：島田隆一 撮影：朝妻雅裕 / 島田隆一 / 城阪雄一郎 / 山内大堂 編集：辻井潔 音楽：AMADORI 製作：JyaJya Films
2012年 | 日本 | 86分 | SD | カラー | 4:3 | ステレオ | © JyaJya Films



「ゼロ年代」のはじまりから2022年現在。あの頃若者だった、すべての人たちへ——
なにかに憧れて、なにかのものかになりたいと願う、人間の物語。

若者の居場所・家族・統合失調症———現在につながる切実な主題を抱えた本作が
島田隆一監督の最新作『二十歳の息子』先行上映とあわせて10年ぶりに再上映決定!

2012年に公開され話題を呼んだドキュメンタリー映画『ドコニモイケナイ』の主な舞台は、公開よりおよそ10年前の2001年の渋谷。ハチ公前、109など今と変わらない風景がありつつ、ゼロ年代初期の渋谷は、若者が何かを求めて集う場であった。行き場のない若者が集まっては、ただひたすらにたむろしている場所だったが、そこには今とは違う人間的なパワーと魅力もあった。映画は、そこで生きるある少女の夢の挫折とその後を描き、若さゆえの光と影が強烈な印象を残す。SNSも無い当時と比べ、今の若者の生き方は、何が変わらず、何が変わったのだろうか。本作の監督である島田隆一は、あれから20年以上経ち、もう一度若者にカメラを向けた。最新作『二十歳の息子』は、親を知らない二十歳の青年が、初めて“家族”と生きる物語だ。果たして若者たちはこれからの世界で、どこに居場所を見つけ生きていくのか。この2作は、そんな問いを観る者に突き付ける。



公開10周年記念上映 / ドコニモイケナイ

第53回日本映画監督協会新人賞受賞作品

監督:島田隆一 / 撮影:朝妻雅裕 / 島田隆一 / 城阪雄一郎 / 山内大堂 編集:辻井潔 音楽:AMADORI
製作:JyaJya Films 2012年 | 日本 | 86分 | SD | カラー | 4:3 | ステレオ © JyaJya Films

歌手を目指し、佐賀から上京した吉村妃里、19歳。渋谷の街でストリートミュージシャンをしていた彼女は、当時、映画学校の学生だった島田隆一とスタッフたちに出会う。夢を語る熱情的な吉村の魅力に惹かれた島田たちは、彼女を追いかけてカメラを廻し始める。しかし、吉村は突然、統合失調症を発症し、緊急入院。東京にしていることができる状況ではなくなり、帰京することになった。映画は完成せず、テープは放置されたままとなったのだが…。



はたちのむすこ
特別先行上映 / 二十歳の息子

監督:島田隆一 撮影:林賢二 / 前田大和 編集:遠山慎二 整音:川上拓也 音楽:河北聖子
製作:JyaJya Films 配給:ブライトホース・フィルム
2022年 | 日本 | 86分 | DCP | カラー | 16:9 | 5.1ch © JyaJya Films

幼少期より養護施設に預けられ、両親の顔も知らずに育った渉。ある事件をきっかけに拘置所での生活を送っていた彼に、子どもたちの自立支援に取り組んでいる網谷勇気が養子縁組を持ち掛ける。網谷にとっても、渉にとっても新しく家族を作っていくことはひとつの大きな決断だった。時に戸惑いながらも2人の新しい生活が始まった。

2022年

12月3日(土)～9日(金)

1週間限定上映!

上映日時

12/3 (土) 20:30—ドコニモイケナイ
12/4 (日) 20:30—二十歳の息子
12/5 (月) 20:30—ドコニモイケナイ

12/6 (火) 20:30—ドコニモイケナイ
12/7 (水) 20:30—二十歳の息子
12/8 (木) 20:30—二十歳の息子
12/9 (金) 20:30—ドコニモイケナイ

※期間中イベントも開催予定。詳細は劇場HPで発表。

料金 『ドコニモイケナイ』 一般1500円 / 学生・シニア1200円
『二十歳の息子』 一般1800円 / 学生・シニア1200円



ポレポレ東中野

03 3371 0088 pole2.co.jp
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
都営大江戸線A1出口より徒歩1分

